

人はロボットではありません

意思をもった一人の人間であり

家族にとっては かけがえのない大切ないのちなのです

寺西 笑子



同朋新聞

どうぼうしんぶん

Dōbō Shimbun

9

Vol. 790 September 2023

Shinran
500th

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

今月の写真

空に向かって咲く彼岸花
「いのちより大切な仕事はありません」と呼びかけ、過労死に対して取り組む寺西笑子さん。
いのちの営みの中で、自らの想像を超えて生を受けている私たち。
一人ひとりのいのちを大切にすることは——。そのことをあらためて問い、語りあうことが
求められている(2・3面参照)。

CONTENTS

2・3面

人間といういのちの相

いのちより
大切な仕事はない
寺西 笑子さん



6・7面

特集

帰敬式法座の
取り組み



8面

対談

私にとっての慶讃法要(上)
—真宗門徒であることの原点

木越 渉 × 宮下 晴輝
宗務総長 教学研究所長



4面

現在を生きる

縁家 —お寺の掲示板—
第2回

5面

親鸞聖人にであう
第14回

9面

聞 今月の法話 第35回



慶讃特設サイト

検索

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
送料 1部1カ年1,300円(部数により変動)
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

御本尊は本山からお受けしましょう

通信員リレーレポート Vol.239

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。

大切なのは南無阿弥陀仏

九州教区 熊本西組 證明寺門徒

野本伸一さん(74歳)



野本伸一さん(ご自宅にて)

「私は、真宗大谷派。そう力強くおっしゃるのは證明寺の責任役員を務めている野本伸一さん。

野本さんは鹿児島県の霧島山の麓にある湧水町で自然に囲まれながら育った。その後、仕事の関係で熊本県に転居し、25年前の1998年に現在のお手次寺である證明寺の前住職、隈部襲丸さんに出会う。映画チケットをもらいにお寺を訪ねたことをきっかけに、前任職との交流が始まったとのこと。

お寺の法座などの行事に身を運んだ時をはじめ、さまざまな場面で前任職にはたくさん言葉をかけてもらったそうです。中でも心に残っている言葉が「あるがまま」「あまり飾らないで」「人生は思い通りにならん」の3つだという。

人生の転機は、長年勤めていた建築会社が定年間近で倒産してしまった時だという。そんな中で、「人生は思い通りにならん」と前任職にかけられた言葉が思い出し、その時不思議と齟齬することとはなかったそう。この経験が自分の人生を確かめるきっかけになり、「難しいと感じる面もあるが、真宗の教えは誰にでも開かれている」と感じたそうです。

現在を生きる

その後、野本さんは独立して建築設計事務所を開業。現在は仕事をされながら九州教区門徒会副会長・熊本西組門徒会長・熊本西組(城南ブロック)同朋の会推進員連絡協議会「蓮の会」副会長など、さまざまな役職を引き受け、多忙な日々を過ごしている。

お連れ合いの介護もされる中、野本さんの原動力は何かと尋ねると、「実家を初めて離れ、東京に仕事に行くことになった時、母から「どこにいてもあなたは真宗大谷派よ」と言われた。それはたぶん、どこにいてもお念仏を忘れないでね、という意味だったんじゃないかなと思う。野本さんはこの言葉をずっと大切に、「私は本当の真宗門徒となり得ているのか」ということを課題にして、日々の生活の中で問い続けられているそうです。

最後に「自分にはつきりと帰る場所、拠り所がある。やっぱり大切なのは南無阿弥陀仏ですよ」と、語ってくださいました。

お念仏の教えを生活の中心とし、自ら開き、手渡していこうとはたらき続けてくださっている野本さんの姿に、心を打たれ、身の引き締まる思いがした。また、取材の中で、野本さんの存在そのものが「南無阿弥陀仏に出遇ってほしい」という呼びかけだと強く感じた。



野本さんの初心の書
前任職(隈部襲丸氏)の遺稿集

九州教区通信員

竹崎桂一

縁 お寺の掲示板

第2回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。

愚か者めと

ヤげすむ人

愚か者こそ

救わんとする仏

以前、「愚か者めが！」と他人を責めたる国会議員が話題となりました。人は誰も愚か者になりたくはありません。しかし縁があれば間違いを犯してしまうのが人間です。親鸞聖人は法然上人の「浄土宗のひとは愚者になりて往生す」という言葉を大切にされました。「往生」とは阿弥陀如来の世界である浄土に生まれることです。仏が自分の思い通りに生きようとしても生きられない愚か者を持つ私たちこそ救い取りたいと願いを立てられたことを思い、この言葉を選びました。



正教寺 (東北教区 会津組)
福島県会津若松市花春町7-1
住職 諏訪 秀一

福島県会津若松市の一角に位置する正教寺。訪問してすぐ、駐車場と墓地の間に設置された掲示板が目に入った。2006年に寺院の役員から寄贈されたという掲示板は、前任職の代には寺院の行事や催しのお知らせを掲示することが多かったという。その後、現在の住職である秀一さんが、法語に込められた親鸞聖人の教えの精神を誰にでも伝わるような言葉で表現したいという想いから2019年に法語の掲載を始めた。

最初のうちは言葉だけを載せていたが、意味を知りた

東北教区通信員 藤原了

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel.075-343-0458 Fax.075-371-0458

法藏館

http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 新刊メール配信中!
お買上16,500円(税込)以上送料無料 表示価格はすべて税込

唯識説の深層心理とことば

「撰大乗論」に基づいて小谷信千代著
あらゆる物事は心の現れと説く唯識。世界が現象とする経緯を、理論的整合性をもつて哲学的に説明し得る「ことば」の哲学として展開。
四、一八〇円

新装版 現代語訳 親鸞全集 5

言行・伝記
真繼伸彦監訳
親鸞聖人の全著作を網羅し、現代人が平易に読める現代語訳の決定版。全5巻。最終巻、歎異抄・口伝鈔・改邪鈔ほか一言行・伝記。
二、四二〇円

住職必携

真宗大谷派儀式作法
大谷制以知著
調声・声明の作法、内陣の莊嚴、法要の式次第など、お勤めの基礎から住職実務までを図や写真入りで詳しく説明。住職やこれから住職になる方、そして信侶も必携の書!
二、八六〇円

重版 「たすけたまへ」の浄土教

井上見淳著
西本願寺最大の異安心論争「三業惑乱」が、真宗の思想の根幹にかかわる大問題であったことを浮き彫りに! 願解文に関する論述あり。
六、六〇〇円

親鸞往生論争と教学の現況

草間法照著
近代以降の往生論争や教学のありようを再考。スプレッドタイプ化した「通説」から脱却し、親鸞の実像に迫る!
二、八六〇円

合掌の道

現代の課題に問われつつ
川島弘之著
喜びも悲しみも、出会いも別れも、人生は「合掌に至る道」だった。人生に虚しさを感じ、生きる実感求めて放浪生活に身を投じた著者が出遇ったものとは。
一、三三〇円

2024年ほのぼのカレンダー

東井義雄(詩) 谷内正遠(文字絵) 一五〇円
スケジュールの書き込みにも便利な大判サイズ。
※寺院名など印刷可能実装費

真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう



第14回

「伝」 —伝えるということ — 伝わるということ—

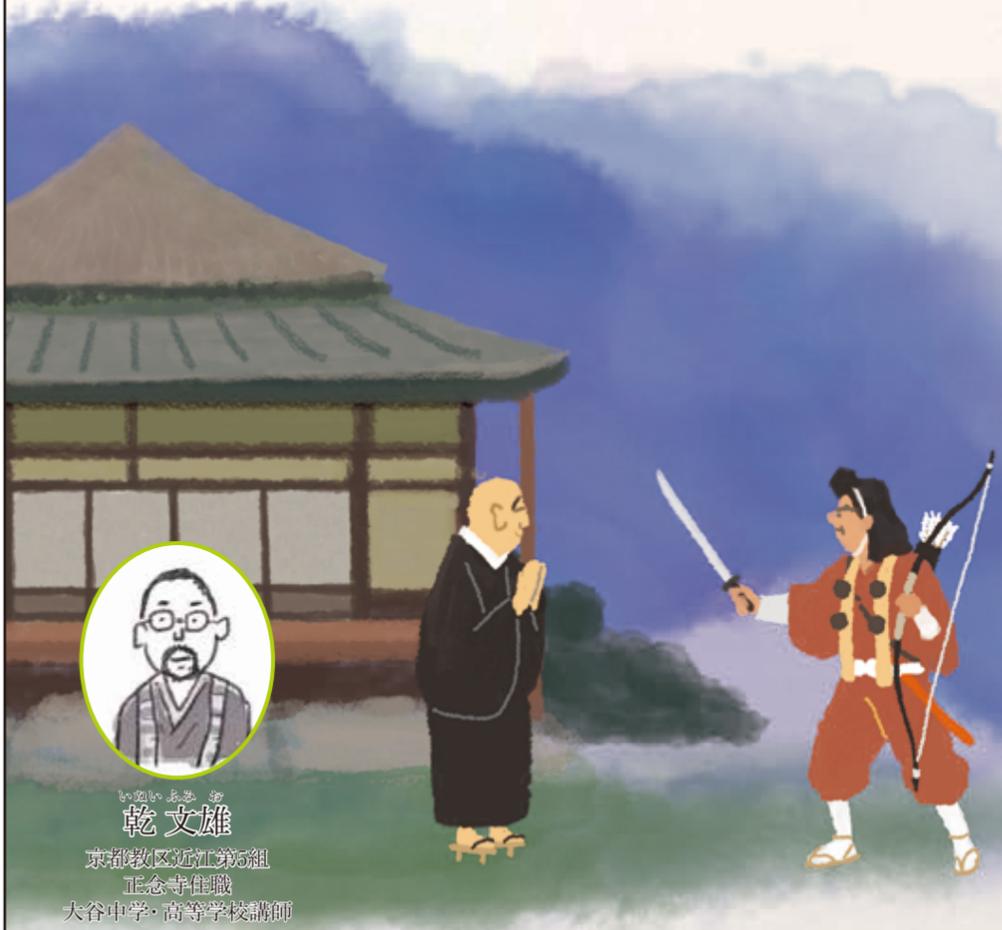
関東に着いた親鸞聖人は、常陸国小島(茨城県下妻市)に草庵をかまえ数年を過ごされた。その後、常陸から下総国(千葉県北部)、下野国(栃木県)と、本願念仏の教えを自己の内に深く確かめながら、人びとに広く伝えるという20年を過ごされます。

小島をあとにして稲田(茨城県笠間市)に移られた頃のお話です。当時の関東では呪術的な宗教や完全に呪術化してしまった仏教が広まっております。近くの板敷山(同石岡市)には、弁円という山伏がいました。祈祷により災いや苦しみを取り除き、人に幸せを与えるという教えを説いて、多くの信者を集めていたのです。しかし、聖人の説く本願念仏の教えは苦を取り除くのではなく、苦をきつかけとして本当に大事なことに気づき、たどえ思い通りにならないことが多くとも、その現実を受け入れることで、喜んで生きていくことのできる道でした。

信者が聖人のもとに集まりはじめ、自らの立場が脅かされると感じた弁円は、危害を加えるべく稲田の草庵に乗り込みます。しかし、そこにいたのは、まるで親しい友を出迎えるように穏やかな表情をした聖人でした。すべてを包み込むような優しいお姿にふれ、弁円の敵意は失われたというのです。

親鸞聖人に であう

浄土真宗をあきらかにされた親鸞聖人。
大谷中・高等学校「京都」で
生徒とともに学ばれている乾さんと、
中高生の素直(リアル)な問いを手がかりに、
「人と生まれたことの意味」を
親鸞聖人のご生涯に学んでいきます。



乾文雄
京都教区近江第5組
正念寺住職
大谷中学・高等学校講師

「伝 言葉ゲームやったことある?」
「あるよ! 小学校のお楽しみ会でよくやった。最後はもうぐだぐだ」
「そうやねん。あれの面白いところは、最後の人に伝わったときにはなんでもそんな伝わり方するかな」と思うくらい、とんでもない内容になって届いてしまうことよね」
「それと似ていてな、これは笑い事ではないねんけど、残念ながら釈尊の大事な『伝言』もな、時代や国、言語や文化、価値観が違うことで、それらをもとに理解されては伝え直されてきた。また数えきれない人の独自の受けとめも含まれて再発信されていながら、本当のことと本当ではないこととがどうしても入り混じって伝わってしまっていたとしても仕方ないことやと思うねん」
「私たちは自分の都合で人の話を聞いてしまうことがあるよね。こないだもううちの連れ合いに『帰りが遅くなる。でも晩御飯は食べたい』と伝えたらやけど、帰ったらご飯なかった。どうやら食べたいのいが伝わらなくて、もう食べたと思われた。心の中で食べて帰ってきて〜と思ってたんやて」
「…」
「話を戻すと、そこで登場するのが?」
「親鸞さん!?」
「残念。その前に…」
「法然さん!」
「正解! 法然さんは、自分にまで届いた教えでは愚かな自分は救われない。こんな私が自分であることを喜んで、さらには皆と共に助け合って生きていける人となる教えがきつとあるはずやと尋ねていかれた。そして中国の善導さんの言葉に出あい、『ここにあった』となった。ほんで『あれもこれも』となっていたのを『あれかこれか』と選び取っていかれた。でも、自分のところに届いた伝言こそが正しいと信

じる人たちはどう思ったと思っつ?」
「怒り出す人が出てきますよね!」
「その通り! 自分が正しいと思っつた教えを『それは違う、捨てなさい』と言われたら、『法然さん勝手なこと言うな。間違っているのはあんたや』と言っつのも無理はないよね」
「しかも、法然さんからの直接の伝言を、自分勝手に受けとめる人もいた。それで、法然さんは都から追い出された。親鸞さんも流されはるねん」
「親鸞さんは法然さんの教えを『この私にはこの道しかない』と受け取られた。そして法然さんと別れてからは、その教えを自分のことまで届けてくれはつた日本や中国、インドの偉いお坊さんたちから釈尊へとず〜っと辿って確かめていかれた。その確かめを書いたのが『教行信証』という書物やねんけど、それはまた今度」
「そんな時に山伏の弁円さんに出会うねん。弁円さんは、苦を取り除くことで幸せになれるという教えでもって人を救おうとしていて、それに頼る多くの人がいた。一方、親鸞さんは苦を大事なことにあう大切な縁と受けとめて生きてはつてん」
「だから、東本願寺には、魔よけのお札も願いが叶うお守りもない。あつたら儲かるやろやろな〜とも思っつけどない。でも、弱い私たちは受験の前とか、病気になるたりとかしたら求めてしまっつことあるよね。そんな私らに親鸞さんは、私は念仏一つに立つけど、どうするかは『面々の御はからいなり(皆さんの自由ですよ)』と言われた。さあ、どうする?」
弁円は、親鸞聖人の生きる姿そのものに確かな教えを感じたのでしよう。その教えの確かさが理屈ではなく「本当に生きる人」の姿によって伝わったのでしよう。

「帰敬式法座」の取り組み



高山別院での帰敬式(岐阜高山教区)



ワークショップ(山陽教区)

真宗大谷派では、真宗門徒の生活を確かめ、教えに生きる“人”の誕生を願い、2017年から「帰敬式法座」の取り組みを全国の各教区で行っています。このたび、本山指定の帰敬式法座が終了しますので、本山指定の取り組みの一部をご紹介します。

帰敬式法座とは?

この法座は、**帰敬式の受式に至る学びの場**として、また**既に帰敬式を受式されている方へのさらなる学びの場**として、「**礼拝・聞法・正信・帰依三宝**」などをテーマに、**仏弟子として学び・歩み出す機縁**となることを願い開催しています。



お勤めの練習(九州教区)



お内仏のお給仕と荘厳の説明(能登教区)

帰敬式について

帰敬式は「おかみそり」とも言われ、**仏(真実の教えに目覚めた人)・法(仏の教え)・僧(教えに依って生きる人びとの集まり)の三宝**に帰依し、親鸞聖人があきらかにされた教えに自らの人生を問いたずね、真宗門徒として新たな人生を歩み出すことを誓う大切な儀式です。帰敬式を受式されますと、**仏弟子としての名告りである「法名」**が授与されます。

詳しくはこちら→



今後の帰敬式法座の展開について

今後は教区が主体となり、**組・寺院等を単位とした帰敬式法座**を開催してまいります。開催にあたり、特に、**門徒と僧侶がともに「仏弟子」として出会いなおし、共に学び、共に歩む求道者としての出会い**が開かれることが願われています。また、**門徒が積極的にスタッフや受講者として参加いただくこと**で、**門徒と僧侶の「共創」**が生まれ、**組の共同教化の充実や、各寺院における「同朋の会」の結成・充実、報恩講や子ども会等の寺院教化の活性化に繋がること**も期待しています。法座を通して帰敬式を受式し、**仏弟子として歩み出すことにより、あらためて「真宗門徒の生活」**を習ってみませんか。



帰敬式法座参加者の声紹介



以前から関心があった帰敬式。法座とおして、帰敬式について詳しいことを学んだうえで帰敬式を受式でき、よかったです。



今回の法座で帰敬式を受けるという決心はつかなかったが、以前よりも帰敬式受式に対して前向きな気持ちになれました。



母が別院で帰敬式を受式していたので、「帰敬式」という言葉は知っていました。たまたま法座のことを知り参加しました。知っているようで知らないことがたくさんあり、これからもっといろいろなことを学んでいきたいと思いました。

真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう

教区での取り組みの紹介

本山指定の中から、4教区の取り組みをご紹介します。

北海道教区

函館別院ブロック [参加者40人]

『念仏申す生活を～真宗門徒の生活実践』の活用



僧侶と門徒が共に勤めを練習

帰敬式が家庭での真宗仏事の回復の一助になること、また、別院のさまざまな行事や活動に参加いただき、聞法を重ねるきっかけとなることを願い開催しました。法座では、**帰依三宝の生活や法名、「正信偈」、お内仏のお給仕**について丁寧に学びました。日程中、別院の仏具のおみがぎを実施したところ、参加者からは「おみがぎの体験もできて楽しく学べました」という声が聞かれました。



おみがぎをしながら仏具の説明を受ける



函館別院報恩講での帰敬式

最終回では、別院報恩講において帰敬式を受式しました。法座終了後も、当初の願いを受けて、継続した聞法の場が開かれています。

東京教区

東京ブロック [参加者61人+ YouTube視聴者]

離れた場所でも学びを深められるようリモート開催

真宗会館をメイン会場、横浜別院と甲府別院をサテライト会場として、講義をYouTubeでライブ配信しました。その後各会場では、帰敬式を受式された方の感話や、講義を受けての座談を行いました。最終回は真宗会館で勤まった教区報恩講に参加者が一堂に会し、お参りの後、帰敬式を受式しました。講義の映像は、各寺院での帰敬式でも活用できるよう、「真宗大谷派東京教区YouTubeチャンネル」にて公開しています。



教区報恩講参拝(真宗会館)



サテライト会場でYouTube配信を視聴している様子(横浜別院)



真宗大谷派東京教区YouTubeチャンネル

長浜教区

長浜ブロック [参加者34人]

子どもも大人も、ともに学ぶ場

長浜教区で開かれている日曜学校や子ども会の結成率の高さに注目し、「親子」もしくは「祖父母と孫」の二世帯が、仏事を大切に



長浜別院の大門楼上で熱心に法話を聞く子どもたち



長浜別院でのレクリエーション(巨大オセロめぐり)

にすることの意味を学ぶ場となることを願い開催しました。法座ではスタッフが制作した**短編動画の視聴**や子どもに伝わりやすい法話を通して「日常

の仏事」や、「なぜ正信偈を勤めるのか」などを、子どもと大人がともに学びました。また、法座に参加した子どもたちには毎回「**仏・法・僧カード**」を渡し、「次回は行きたい」と思えるような工夫も。途中、新型コロナの影響により、開催時期や形態を大きく変更することになりましたが、スタッフが何度も打ち合わせを行い、無事、最終回は真宗本廟(同朋会館)において開催し、帰敬式を受式しました。



昼食は名物の「同朋会館カレー」



本山宮御殿で実施したレクリエーション

参加者に配布された「仏・法・僧カード」(スタッフ作成)

四国教区

東讃第1組ブロック [参加者34人]

同朋の会推進講座へと繋がる法座として開催



各住職による法名伝達

新型コロナの影響により休止を余儀なくされた同朋の会推進講座の新たな第一歩(再スタート)として、「**帰敬式(法名授与)**を受けて真宗門徒の生活を送みましょう」をテーマに、「**新たな人の育成と養成に資する教化事業**」として、3カ年度計画の1年度目として実施しました。各回にテーマを設け、スタッフが法話を行い、その後の茶話会(座談)では、参加者が真宗門徒の生活を確かめました。最終回には、参加者の所属寺の住職執行による帰敬式が合同で行われました。

して、3カ年度計画の1年度目として実施しました。各回にテーマを設け、スタッフが法話を行い、その後の茶話会(座談)では、参加者が真宗門徒の生活を確かめました。最終回には、参加者の所属寺の住職執行による帰敬式が合同で行われました。



茶話会(座談)



各住職による剃刀の儀

【帰敬式全般に関するお問い合わせ】 同朋会館(研修部・帰敬式実践運動推進事務局) TEL 075-371-9185 / FAX 075-371-9201



同朋会館HP

教え・人 出遇いなおしは真宗本廟奉仕から

対談

私にとっての慶讃法要(上)

—真宗門徒であることの原点

真宗の原風景

木越 私は法要の毎座のお勤めが終わった後、御影堂門に立って、お参りの方をお見送りしたのですが、帰って行かれる方の表情が非常に明るかったのです。慶讃法要を迎えるまでの約三年間、私たちは新型コロナウイルス感染症によって、非常に窮屈な生活を強いられました。お参りの時間は、コロナの苦難から解放されるような時間だったのではないかと感じました。また、この法要は、お寺に集うことが大事だということ、集って人と会うことの喜びを思い出させてくれる機会になったのではないかと思います。

宮下 慶讃法要には本当にたくさんの方々がお参りになられ、「真宗の原風景」とでも呼ぶべきものに触れたような気がします。皆さんは、何を求めて集まられたのでしょうか。『歎異抄』の「おのおの十余か国のさかいをこえて」という言葉も思い起こされますが、誘われて来られた方もいたでしょうし、それぞれの思いや動機はさまざまであったことでしょう。そのことについて親鸞聖人は「往生極楽のみちをといきかんがためなり」と言われますが、それは誰もが実は「道を求めて来たのだ」ということだと思えます。『阿含経』の中にも、

積尊のもとに來た傲慢なブラーフマナ(婆羅門)に対し、積尊が「あなたは自分の慢心を養うためにここに來たのではないでしょう。道を求めて來た、その心を養い



木越 涉 宗務総長
宮下 晴輝 教学研究部長

をする「同朋唱和」の伝統は、百年前の立教開宗七百年紀念法要の時から新たに始まったようです。

木越 そうですね。そして、このたびの慶讃法要では、宗門の歴史上で初めて、阿彌陀堂・御影堂の両堂で同時にお勤めをしました。

宮下 阿彌陀堂には、阿彌陀仏を中心に、法としての本願が象徴されています。その本願から積尊をはじめとする諸仏が生まれるということが、『無量寿経』によつて教えられることですが、諸仏としての親鸞聖人と出遇っていく場所が御影堂ですね。そして、その親鸞聖人の浄土真宗の教えが、まさに諸仏を生み出す阿彌陀仏の本願を教えてくださるものであります。浄土とは、諸仏を生み出す場所である。そのことをあらためて確かめる両堂でのお勤めでしたね。

木越 浄土真宗の教えは「念仏申せ」という明瞭なものです。しかし、その「念仏申せ」という教えに対し、すぐに「はい」と反応できないのが私であります。そのような私であることを、両堂で多くの方々と共に勤めをすることで気づかせていただきました。堂内に鳴り響く念仏の中で、共に念仏させていただける身となる。法要にお参りすることにより、そのことを体験することができました。

『教行信証』をとおして宗祖を感じる
木越 慶讃法要は、宗祖の御誕生と共に立教開宗を機縁とするものですが、立教

真宗本廟では、3月25日から4月29日にかけて「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」が厳修され、5月5日には「子どものつどい」が開催されました。真宗本廟で勤まった慶讃法要の意義を確かめるとともに、今後各教区で慶讃法要が勤まることを願い、木越渉宗務総長と宮下晴輝教学研究部長との対談を、今号から二回にわたって掲載します。

開宗というのは『教行信証』をとおして宗祖を感じるということではないかなと思えます。宗祖直筆の『教行信証』である「坂東本」は、関東の御同行が守り抜かれ、現在当派が所蔵し、慶讃期間中には京都国立博物館で開催された「親鸞 生涯と名宝」展にも出展されました。宗祖が三十年間お手もとに置き、筆を入れられ続けた「坂東本」の肉筆をとおして、私自身の聞法のあり方が問われます。例えば「行巻」の標榜の文のところは、もともとは「真実の行 選択の行」と書かれていたところに「浄土」「本願」と書き加えられ、「浄土真実の行 選択本願の行」となっています。私はその肉筆を見た時に衝撃を受けました。それまで「真実、真実」と当たり前のように言っていました。宗祖は浄土がなければ真実ではないのだということ、これを、このように書き加えることによつて、私に注意を促して下さっているのではないかと感じます。



宮下 参拝接待所ギャラリーでは「慶讃信証」が催され、そこに「坂東本」の「正信偈」部分の写真が展示されていました。すると、それを見に来られたあるご門徒が、「正信偈」の随所にたくさん線が引かれ、書き直されたりしているのに気づいて、係の職員に「これは親鸞聖人が間違われたのです」と言われたそうです。確かにそのようにも見えますが、親鸞聖人は何度書き換えては思索をするということを重ねられて、伝えなければならぬ言葉を考えておられたのでしょうか。

木越 「坂東本」『教行信証』は、宗祖の七百五十回御遠忌の際に御修復がなされ、影印本が公刊されました。また、展示や出版物をとおして、宗門のより多くの僧侶・門徒の方々に、実際に親鸞聖人の肉筆に出遇っていただき、どういうところに注意をなさっていただければ、私たちが唱えている正信偈は、どれほど多くのご苦勞や思索の深まりをもって書かれたものであるのかということ、ぜひ触れていただきたいと思えます。

宮下 その一方で、このたびの慶讃記念として刊行された『宗祖親鸞聖人著作集』には、「坂東本」『教行信証』の書き下し文が、すべてにルビを振って収められています。これによつて初めて、誰もが求めれば「坂東本」『教行信証』を読むことができます。読み進めれば、心には入ってきます。ついにここまで来たかと、大変ありがたく思っています。立教開宗というのは『教行信証』に尽きるわけですから、親鸞聖人が『教行信証』を書かれた意義を、これから

(続く)

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

第35回

「大悲」をいただく喜び

新潟教区 第10組 勝願寺 おおふじ 美帆



今月の法話

「仏法は、聴聞にきわまることなり」(蓮如上人御一代記問書)と教えられているように、真宗門徒は昔から仏法聴聞を大切にしてきました。日々の生活の中で仏さまの教えを聞いていただくことを願いに、毎月一話ずつ掲載します。

「私はママのせいで自己肯定感が持てない人間になった。ママからの愛情は感じられない」これは、私が十八歳の娘に実際に言われた言葉です。

娘は生来、対人関係がうまく築けず、人と話すことが苦手という特性があり、生きづらさを抱えています。小中学校では通常校内の特別支援学級に在籍していました。

私は娘に社会性を身につけてほしい、そのためには学校に行ってもらいたい、医療機関・学校・行政と何度も相談を重ね、保護者向けの勉強会にもたびたび足を運び、このとに多くの時間と労力を費やしました。しかし、冒頭の言葉が娘の気持ちだったのです。

娘はこう続けました。「ママは何があっても学校に行かせようとした。学校に行きたくない日があっても、その自由を認めてくれなかった。小さい頃から自分の意志が尊重されていなくて、そのせいで自己肯定感が持てない。これはママの育て方のせいだ」と。

この言葉を聞いた時の私のショックは、ご想像いただけると思います。

私は、学校では娘への万全の支援体制が整っている。だから、遅刻や早退はあっても学校に行くこと。そして学校に行けたという達成感の積み重ねが自己肯定感にもつながると信じ、これが愛情だと疑わず娘に接してきたのです。ところが、それは違ふと言われてしまったのです。この娘の告白に、私は目の前が真っ暗になる一方、不思議と目の前に一筋の光が差ししたような気持ちにもなりました。なぜなら、娘のあるがままを肯定できていない我が身の事実に気づいたからです。

大悲無倦常照我

(真宗聖典二〇七頁)

親鸞聖人は「正信偈」の中で「大悲倦きことなく、常に我を照したまう」とうたわれておられます。元々は源信僧都が「往生要集」の中で述べられているお言葉です。「大悲」とは、文字だけを見ると非常に暗い印象ですが、私たち一人ひとりに平等に開かれた阿弥陀様の世界のことであり、私にはとてつもなく大きな喜びに満ちた言葉として響いてきます。

私は娘に対して費やした時間と労力、愛情への見返りや成果を求めていました。私の愛情が正当に評価

されなかったのです。しかし、これらはすべて私の物差しでしかなかったのです。「大悲無倦常照我」とは、「仏の大悲は見捨てることなく、常に我が身を照らしてください」という意味です。人間はどこまでも自己中心的で、自身の行為に対して見返りや正当な評価を求める存在です。この人としての在り方を思い知らされ、人として生まれたことそのものが大きな悲しみを背負っていると気づかされた時、身の事実に対する深いうなずきの中から沸き上がる大きな喜びの言葉、それが「南無阿弥陀仏」ではないでしょうか。また、阿弥陀様の世界とは、この世界のどこかに実体としてあるわけではなく、身の事実への自覚から転じられた見方なのではないかと受け止めています。

慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれことの意味をたずねていこう」とは、大悲に照らされた我が身の事実にとどこまでも向き合い続けよう、と呼びかけてくださっているのだと思います。

私は五月に、何としても真宗本廟にお参りして「親鸞展」を見たいと思ひ、新潟県から日帰り京都を訪れました。学生時代に京都に住んでいた時には大きな歴史的建造物の

本山という認識でしかなかったところが、今ではどうしても尋ねたい真宗本廟に真実に目覚めさせてくださるところに変わったのです。「歎異抄」第一条に「おのおの十余か国のさかいをこえて」とあるように、八百年前には幾日もかけて、いくつもの国境を越えて多くの方がお参りされたことでしょう。それが今では日帰りで行けて、YouTubeのライブ配信でも法要にお会いできる時代です。しかし、時代は変わっても人間の

真実は変わらないのだと思います。私が娘のために愛情だと信じてやってきたこと、娘が本当に望んでいたこと、どちらが正しいのでしょうか。それは、どちらも正しくて、どちらも正しくない、そう、正解はないのだと思います。なぜなら、私たち人間は、自分の置かれた境遇で自分の物差しでしか物事を量れない、そのような業を背負って人として生まれてきたからです。

私は我が子の存在から、「大悲無倦常照我」の世界をいただきました。私と娘はこれからもぶつかり続けることでしょう。しかし、最も近くて最も遠い娘の存在を有り難くいただきながら、お念仏の生活を送っていききたいと思います。

送っていききたいと思います。

読者の便り募集

『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール / shuppan@higashihonganji.or.jp FAX / 075-371-9211 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「同朋新聞編集係」

入試対策講座

10/15 9:30-15:30 事前申込制

詳細・お申込はこちら



- A 大学説明会 B 公募制推薦入試対策(模擬試験と解説) C 個別相談

POINT 公募制推薦入試のポイントや対策方法などを、河合塾講師がわかりやすく解説します!

お問い合わせ: 入学センター 〒603-8143 京都市北区小山上嵯町 TEL: 075-411-8114(直通) Be Real 大谷大学

永田文昌堂

親鸞の念仏三昧論 武田龍精著 定價2750円(税込) 法照禪師の「念仏三昧これ真宗なり」の著名なる一句について、親鸞聖人による真宗の真実義が念仏三昧であることを解明せんとした必読の一冊。

最新刊

山下義信と童心寺 新田光子著 定價660円(税込) 広島戦災児童育成所の運営と参議院議員としての政治活動、また童心寺住職として、本願寺派布教師としての山下義信師の活動を、戦後七〇年にわたる童心寺の略史としてまとめる。 宗教哲学と真宗民俗学 真宗信仰の諸相 和田俊昭著 定價11550円(税込) ヨーロッパ思想をアツクつた初期の論文から、浄土真宗における開山(宗祖親鸞・中祖蓮如)信仰についての論文、儀礼と真宗文化論・民俗論を中心にした晩年の論文など全十九本を収録。著者の研究を凝縮した力作ぞろいの遺稿集。

〒600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

教区及び組の改編

「新潟教区」「富山教区」「小松大聖寺教区」発足! \\ 九州教区「久留米三井組」誕生! //

宗門では社会環境が激変していく時代にあって、将来にわたってお念仏の教えを手渡していく教化・財政づくりのため、「教区及び組の改編」を進めています。

2023年6月、宗派の最高議決機関である宗会しゅうかいにおいて、新潟県内の三条・高田教区、富山県内の富山・高岡教区、石川県内の小松・大聖寺教区の新教区発足についての議決がなされ、7月1日付で新潟教区、富山教区、小松大聖寺教区が発足しました。また、九州教区の「久留米組」と「三井東組」が合併し、新たに「久留米三井組」が発足しました。これにより、全国20教区、393カ組体制となりました。

新潟教区

～一カ寺に聞法もんぽうの場を開く～

新潟教区では、一カ寺、組、教区等の教化組織がそれぞれ連動し、「一カ寺に聞法の場を開く」ことに集約されるよう、教化事業を展開していきます。



富山教区

～「人の育成」を教化の柱とする～

富山教区では一人の念仏者の誕生をめざし、教化本部長を中心とした教化本部体制を構築し、様々な人と人の交流を通して教区人が主体となる教区教化に取り組みます。



また、旧三条教務所を「新潟教務所」、旧高田教務所を「高田教務事務所」とし、高田教務事務所では、金員の取り扱いを除いた従来通りの教務所事務を行います。

※高田教務事務所では、授与物、諸願事、出版物は取次業務のみとなります。



また、旧富山教務所を「富山教務所」、旧高岡教務所を「高岡教務支所」とし、高岡教務支所では、相続講奨励、総合相談、諸願事等、従来通りの教務所事務を行います。

新潟教区ホームページ



富山教区ホームページ



小松大聖寺教区

～御講ごこうの維持と発展強化へ～

小松大聖寺教区では両教区に連綿と受け継がれてきた相続講そうぞくこう(御講)制度を、改編により一層発展強化すべく、新教区において施策が考えられています。



また、旧小松教務所を「小松大聖寺教務所」、旧大聖寺教務所を「大聖寺教務支所」とし、大聖寺教務支所では所員が出向して相続講事務(相続講金の収納)等を行います。

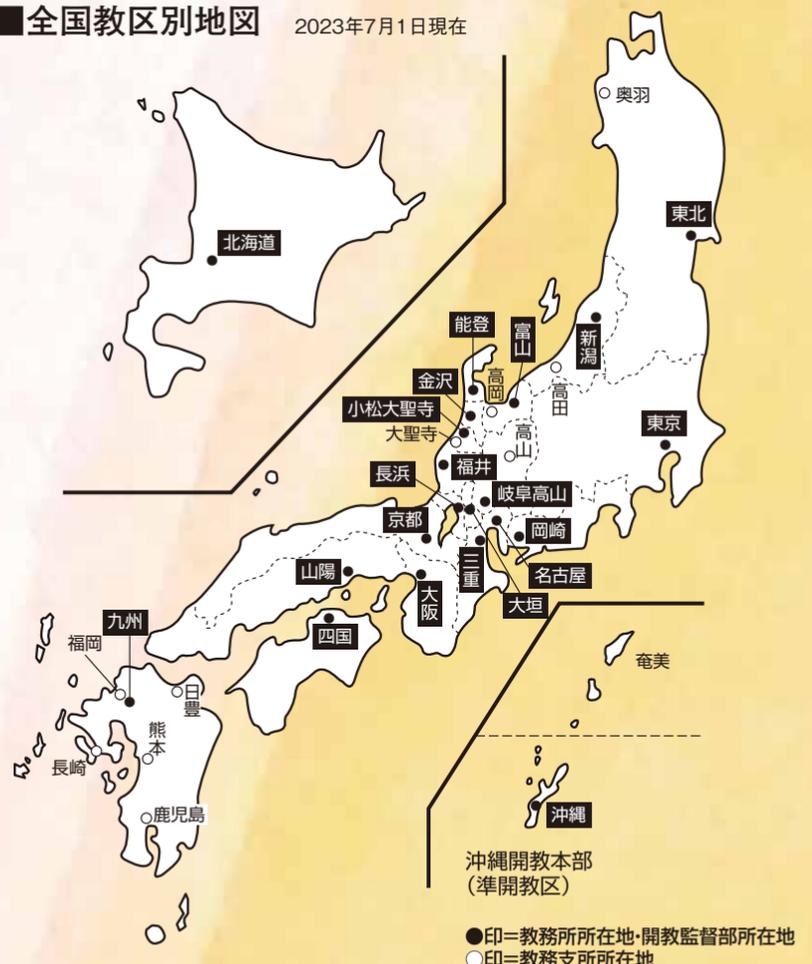
※大聖寺教務支所では、授与物や法人事務、諸願事等は取り扱いませぬ。



小松大聖寺教区ホームページ



■全国教区別地図 2023年7月1日現在

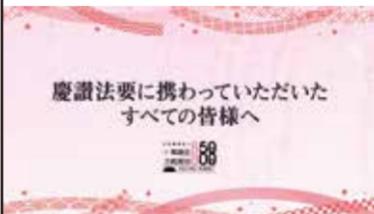


●印=教務所所在地・開教監督部所在地
○印=教務支所所在地

真宗本廟での 慶讃法要を終えて

宗務総長の メッセージ動画を公開

本年3月25日(土)から4月29日(土)まで真宗本廟(東本願寺)で厳修された「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」を終えて、木越渉宗務総長からのメッセージ動画を公開しました。ぜひご覧ください。



宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業 「池の平青少幼年センター50周年記念イベント」開催

6月24日から25日、池の平青少幼年センター(新潟県妙高市)において「池の平青少幼年センター50周年記念イベント」が開催され、両日あわせて約500人が参加した。

24日にはセンターの芝生の広場で50周年記念式典が開催され、木越渉宗務総長から「このセンターは念仏申す仲間のご縁を深めていく大切な場であり、次の世代に受け継がれることができるよう皆さんと協力していきたい」と挨拶があった。また、夕方のレセプションでは大谷裕新門から初めてお越しになった感想を「四季あふれる自然豊かな場所に宗派の研修施設があるということに大変驚き、ここにこれまで数多の方々のお念仏の音が響きわたり、仏さまの教えが培われてきた歴史に思いを馳せ、感銘をうけました」と述べられた。



大谷裕新門挨拶



販わうマルシェ



スキー汁のふるまい

25日の「50周年記念マルシェ」では、全国の青少幼年団体や地元の福祉団体などが多数出店し、大人も子どもも自然の中で楽しみながら、50周年を祝った。また、館内では50年の歩みの展示を行い、たくさんの写真を親子3代で確認する姿もあった。参加者、スタッフともにこれまでの歩みを確認し、次世代へとつなげていく大きな節目となった。

ご案内

詳しくは、真宗大谷派(東本願寺)ホームページ「法要・法話のご案内」まで
もしくは、右のQRコードを読みこんでください。



真宗本廟(東本願寺境内) 京都市下京区烏丸通七条上

- ◇ 晨朝(おあさじ)【場所】阿弥陀堂及び御影堂 【時間】毎日7時～
- ◇ 晨朝法話 【場所】御影堂 【時間】毎日7時30分頃～ 約15分
- ◇ 真宗本廟法話 【場所】視聴覚ホール・大寝殿・参拝接待所仏間
【時間】通常10時10分～/13時10分～ 約25分
速夜日(12・27日)13時10分～ 約25分 御命日(28日)9時30分～ 約15分
※その他、時間・会場を変更する場合があります。
- ◇ 参拝接待所ギャラリー 【時間】9時～16時
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)開催中、「渉成園展」開催中～10月26日

詳しくは、真宗大谷派ホームページまで



2023年7月の大雨によって、九州、東北をはじめ全国各地で被害に遭われました寺院・教会、ご門徒並びに被災者の方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。真宗大谷派(東本願寺)

加藤未唯選手 東本願寺を訪問

7月21日、本年6月の全仏オープン・混合ダブルスで優勝したプロテニスプレイヤー、加藤未唯選手が東本願寺を訪問。木越渉宗務総長から記念品が贈られた。加藤選手は、七日講会員 植彌加藤造園(株)の加藤大貴会長のご息女で、幼い頃、ご両親と一緒に東本願寺を訪れていたそう。「今日は歓迎していただいて嬉しいです。皆さんの応援のおかげで、混合ダブルスで優勝することができました。次は女子ダブルスで優勝します。今後とも応援よろしくお祈りします」と喜びを語った。



祝 加藤 未唯 選手

テニス全仏オープン混合ダブルス 優勝

しんらん交流館 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、ぜひ真宗教化センター しんらん交流館にお立ち寄りください。
開館時間/平日 9時～18時 土日祝 9時～17時 休館日/毎週火曜日

- ◇ 9月の定例法話【場所】1階 すみれの間
【時間】毎日14時～(27日10時～) 動行後約1時間
※毎週火曜日、24日は休会、その他都合により休会する場合があります。
- ◇ 9月の東本願寺日曜講演
【場所】2階 大谷ホール 【時間】9時30分～11時
【講師】◆9月3日…蓮岡修(絵本屋きんだあらんど店主) ◆10日…武田浩学(公益財団法人中村元東方研究所非常勤研究員) ◆17日…休会 ◆24日…休会
- ◇ 交流ギャラリー(1階)【時間】開館時間に同じ
「梅林秀行さんと歩く 東本願寺 水と緑の散歩道」展
【期間】10月4日(水)～12月18日(月)
- ◇ しんらん交流館 Tera School【場所】1階 すみれの間
【日時】毎週月・金曜日 18時30分～20時30分
【対象】小学3年生～高校3年生 ※幼児教室もあります。 http://www.teraschool.jp

東本願寺いのちとこころの相談室 【TEL】075-371-9280
【開室時間】毎週木曜日 13時～17時(祝日または休館日、その他行事日は閉室)

全国のお寺での取り組みや読みもののページなど、さまざまな情報を発信しています。

浄土真宗ドットインフォ



「行財政改革検討委員会協議進捗報告」に関するアンケートへご協力ください

9月1日から10月31日まで、「行財政改革検討委員会協議進捗報告」(8月号11面掲載)に関するアンケートを実施します。
今後の行財政改革推進のため、報告書をお読みになった感想やご意見をぜひお寄せください。



お問い合わせ 宗務改革推進本部 電話:075-371-9222

読者のお便り



帰敬式を受けて

福島県郡山市 帰山久子(73歳)

「同朋新聞」2023年6月号の7面、「慶讃法要期間中の帰敬式の記事の中に「法名は死んでからではなく、生きているうちにいただく名前」という言葉が載っていたのを読み、50年以上前におかみそりを受けたことを思い返しました。私の家は代々大谷派のお寺の門徒で、両親も帰敬式を受けていました。その影響で私も受けたかった。式が終りに思われて受けてしまいました。機会に恵まれて受けて良かったです。式が終わると、その時に抱えていた思いが吹っ切れたような、一つ荷物を下ろせたような心地がしたことを覚えています。私も仏弟子の一人だということをゆつくり考えてみました。同じ方向を向いた方々と共に、広い世界に身を置いていられることを思いながら手を合わせさせていただきます。

お便り募集

詳しくは9面広告欄をご覧ください。

月刊『同朋』購入限定 プレゼントキャンペーン



9月1日(金)～10月31日(火)

月刊『同朋』で表紙絵をご担当いただいている北村人さん(絵本作家&イラストレーター)の書き下ろしイラストをデザインしたグッズをご用意しました!

年間購読:4,200円(税込・送料込) 1冊:400円(税込・送料別)

ご注文
お問い合わせは

東本願寺出版
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

TEL:075-371-9189
詳しい書籍情報は 東本願寺出版



大人お斎の 冥加金の改定について

近年の物価高騰などの事由により、お斎の冥加金を2023年10月1日より下記のとおり改定いたします。
★子どもお斎(3歳から8歳くらいまで、1人1,000円)の冥加金の変更はありません。

お斎冥加金(大人お一人あたり)	
改定前	改定後(23.10/1～)
3,000円	4,000円

東本願寺へのご参拝の折には、ぜひお斎をお召し上がりください

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075)351-6325
フリ-FAX 0120-89-5255
定休日:日曜日

入館状況については、研修部までお電話でお問い合わせください。

2023年 真宗本廟奉仕のご案内

真宗本廟奉仕を機に、ぜひ「帰敬式」を受式ください。

◆真宗本廟おみがき奉仕団

2泊
11月1日(水)～3日(金)

1泊
11月1日(水)～2日(木)

真宗本廟報恩講を迎えるにあたって、阿弥陀堂や御影堂の仏具のおみがきを日程の中心とした奉仕団です。

申込締切 9月22日(金)



◆真宗本廟報恩講奉仕団

2泊
11月20日(月)～22日(水)
11月24日(金)～26日(日)
11月27日(月)～29日(水)

1泊
11月20日(月)～21日(火)
11月24日(金)～25日(土)
11月27日(月)～28日(火)

真宗本廟報恩講の法要参拝を日程の中心とした奉仕団です。

申込締切 10月11日(水)

◆真宗本廟お煤払い奉仕団

2泊
12月19日(火)～21日(木)

1泊
12月19日(火)～20日(水)

歳末、両堂の1年分の埃を竹の棒と大きな団扇を使って外へ扇ぎだし、新しい年をお迎えする準備を行う「お煤払い」に参加する奉仕団です。

申込締切 11月9日(木)

参加費 <2泊3日> 18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
<1泊2日> 13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

【お問い合わせ】同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185

通年を通し、一般の奉仕団(寺院・門徒会等)の募集も受け付けています。詳しくは同朋会館HPをご確認ください。

・ご入館される皆様に安心してお過ごしいただけるよう、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施し運営しています。
・具体的な対策については、同朋会館ホームページよりご確認ください。



真宗本廟奉仕参加者の声を「ご紹介」

奉仕団に参加して、様々な学びを得ることができました。特に諸殿拜観では様々な話をつながつなげて、先人たちの願いを感ずることができました。(30代 男性)

今月号の『同朋新聞』を読んで、プレゼント付 クロスワードパズルを完成させよう!

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう! 9月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

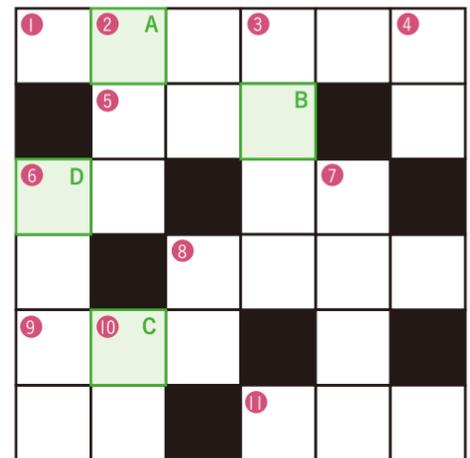
タテのカギ

- 「縁一お寺の〇〇〇板一」今月は、東北教区通信員藤原了さんが執筆しています。(4面)
- 『人間というのちの相』今月のタイトルは、「いのちより〇〇〇な仕事はない」です。(2・3面)
- 「親〇〇聖人にであう」今月のタイトルは、「伝一伝えるということ 伝わるということ一」です。(5面)
- 帰敬式を受式されると、仏弟子としての名告りである「ほ〇〇〇」が授与されます。(6・7面)
- 『現在を生きる』今月のテーマは、「大切なのは南無阿〇〇〇〇」です。(4面)
- 「ク〇〇ワードパズル」へのご応募お待ちしております。(12面)

ヨコのカギ

- 6月24日から25日、「〇〇〇〇〇青少年センター50周年記念イベント」が開催されました。(11面)
- 「人間と〇〇〇のちの相」今月は、寺西笑子さんのインタビューです。(2・3面)
- 『縁一お寺の掲示板一』今月は、東北教区の「正きよ〇〇」さんの掲示板を紹介しています。(4面)
- 新潟教区、富山教区、「小〇〇〇〇聖寺教区」が発足しました。(10面)
- 『「聞」一今月の法話一』今月のタイトルは、「「大悲」をいただく〇〇〇び」です。(9面)
- 木越渉宗務総長と宮下晴輝教学研究所長との対談テーマは、「私に〇〇〇の慶讃法要」です。(8面)

答え



7月号のクロスワードパズルの答えは、うみひ

読者のこえ (6月号を読んで)

- ◆「御同朋・御同行からの問いかけ」最終回とのこと、残念です。私の中に少なからずある差別の心を考えさせていただきました。(70代男性)
- ◆「特集」慶讃法要の記録を次世代の人に残したいと思ってアルバムを作っています。今月号の同朋新聞も一緒にタイムボックスに入れておこうと思います。(50代女性)

チャレンジ! 正解者の中から抽選で5名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1000円分」をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、下記までご応募ください。今月号の締め切りは9月30日(土) (当日消印有効)です。

メールでも応募できます!!

はがきと同様に必ず上記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞9月号クロスワード応募」と入力の上、higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。



応募はコチラ

【ご注意】◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報プレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」に掲載する場合があります。
◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「クロスワードパズル係」まで



◇東本願寺の参拝接待所から御影堂までをつなぐ高廊下の壁には、筆で書かれた宗派の諸先生方の言葉がいくつか並べて掲げられています。その法語を参拝に来られた方々がじっくりとご覧になっている姿をよく目にします。私も通るたびに何気なく目を向けますが、その時々で目に留まる言葉が変わることに面白さを感じています。◇先月号から、新連載「縁一お寺の掲示板一」がスタートしました

(4面)。全国のお寺で掲示されている法語を紹介し、その言葉に込められた思いや、法語の掲示にどんな思いを込めて取り組んでおられるのかをお伝えしています。皆さんもぜひ、お手次のお寺やお近くのお寺の掲示板の前で少し足を止め、法語をじっくり味わってみませんか。私も毎月の連載でさまざまな言葉と出あっていくことを楽しみにしています。(古賀)

訂正とお詫び

8月号「現在を生きる」に誤表記がありました。右記のとおり訂正し謹んでお詫びいたします。 | 4面2段目8行目 誤「夜半に嵐も」→ 正「夜半に嵐の」

10月1日 東本願寺出版新ホームページオープン!!

これまでの販売サイト「TOMOぶっく」と情報発信サイト「東本願寺出版HP」が1つにまとまり、よりご利用しやすくなります!



新しいHPでは○○○○

- ・見やすい! スマートフォン・タブレットに対応!
- ・買いやすい! クレジット決済に対応。書籍の試し読みもできる!
- ・お得! お買い物で使えるポイントが付く!

※10/1から「TOMOぶっく」が新HPに切り換わります。

【お願い】

誠に申し訳ございませんが、すでに「TOMOぶっく」で会員登録いただいている方は、新HPで、再度ご登録いただきますようお願い申し上げます。

ぜひ、ご利用ください!

